

# 仙台市ボランティアセンター広報誌

# ぼらせん

BORASEN

vol. 30  
2026  
Summer

特集

## 学生と地域をつなげる 宮城ボラ・インカレ2026開催



団体の活動紹介



開会式の様子



各団体をはじめとする関係者の皆さん

## ボランティア活動の輪を広げる

大学生が中心に様々な活動に取り組む仙台学生ラボと仙台ボランティアセンターが協力して、「ボランティアに興味がある」「新しいことに挑戦してみたい」と考えている学生の皆さんを対象に、「宮城ボラ・インカレ2026」を4月24日(金)に開催しました。

東北学院大学五橋キャンパス・未来の扉センターを会場に、地域を拠点に活動している子どもたちの学習支援や居場所づくり、地域の復興支援、生活困窮者への食料支援など14団体が集まり、学生がボランティア活動を始めきっかけづくりや、学生・団体同士のつながりを深める場となりました。



会場となった東北学院大学

## Contents

### 特集

- 宮城ボラ・インカレ2026 ..... 1-3
- 企業の社会貢献 ..... 4-5  
・スターボックスコーヒー仙台パルコ店  
・松月産業株式会社
- 子どもの居場所づくり支援 ..... 6  
・特定非営利活動法人シャロームの会  
まざらいん食堂
- ボランティアセンターからのお知らせ ... 7
- イベントインフォメーション ..... 8

# 特集

宮城ボラ・インカレを  
ズームアップ

## ボランティアを始めるなら今 ボランティア団体が集合

### 学生と地域をつなげる 新歓イベント & 学生交流会



会場の様子



会場の様子



団体の紹介ブース



会場の様子



団体の紹介ブース



会場の様子

#### 一 大学生の若い力を活かしたい

「宮城ボラ・インカレ」を開催するのは今回で4回目。仙台学生ラボは、仙台市内の5つの大学に通う学生たちが大学の垣根を越えて集まった学生団体で、開催に向けて仙台市ボランティアセンターと一緒に悩みながら準備を進めてきました。

当日は「ボランティアを始めてみたい」という多くの大学生の方に足を運んでいただきました。参加のきっかけはさまざまで「自分が通っている大学以外の場所でもつながりがほしいと思った」「地域の子どもたちを応援するボランティアに興味があった」「高校時代に夏のボランティア体験会(仙台市ボランティアセンター主催)に参加し、大学でも何かやろうと思っていた」などの声が聞かれました。

一方、ブースを出展した各団体からは、「まず団体の名前を知ってもらいたい」「学生の皆さんとの出会いがとても楽しみ」「学生だけでなく、ボランティア団体を運営している方々との横のつながりも広げていきたい」などの声があがり、会場には双方の熱い想いが満ちていました。

ボランティアの仲間を募る団体と、ボランティアを通じてネットワークを広げたい、新しいことにチャレンジしてみたい学生をつなげる場である「宮城ボラ・インカレ2026」。団体同士の交流も進み、お互いの活動状況を報告し合う場面もありました。仙台市ボランティアセンターでは、今後も各大学と連携しながら大学生・若者のボランティア活動を力強く支えてまいります。

# 宮城ボラ・インカレ 2026 出演団体

どのブースも笑顔でいっぱい!



**1**

**一般社団法人 ari**

病気や障害を抱えるお子さんの兄弟姉妹を対象に、個別訪問やイベントを行っています。

**2**

**宮城大学 みやぎ絆むすび隊**

地域における防災力の向上を目指し、学生が主体的に学びながら、防災・減災の啓蒙活動を行っています。

**3**

**東北学院大学 ボランティアステーション**

ボランティア活動に興味のある学生を全面的にバックアップしています。

**4**

**東北未来芸術花火 学生部**

東北未来芸術花火をより魅力的にするため、人と地域をつなぐ価値創出に取り組んでいます。

**5**

**Activate仙台**

選挙に関心を持ってもらうため、若者の視点で選挙啓発活動を企画・実施しています。

**6**

**manaco**

子どもたちの居場所づくりのため、オンラインでの学習サポートや対話、イベントを行っています。

**7**

**NPO法人 アスイク**

経済的に困難を抱える子どもたちを対象に、学習・居場所支援を行っています。

**8**

**NPO法人 フードバンク仙台**

ひとり親世帯や留学生など、生活に困窮する方への食糧支援を行っています。

**9**

**(株)ユーロバス**

木のおもちゃや遊具を通じて、木と触れ合うことで子どもの豊かな心を育む「木育」を行っています。

**10**

**仙台市市民活動 サポートセンター**

様々な分野における市民活動やボランティア活動の支援施設です。

**11**

**認定NPO法人 キッズドア**

経済的理由で塾に通えない中学・高校生を対象に、無料の学習支援を行っています。

**12**

**野外 自主保育サークル おむすびころりん**

身近な自然を活動の場とする自主保育サークルで、外遊びや子ども食堂などを行っています。

**13**

**連坊オモシロ 街づくり会**

街歩きを通して、連坊を安全・安心でオモシロい街にするための活動を行っています。

**14**

**一般社団法人 復興応援団**

社会人と協力しながら復興・防災活動に取り組んでいます。

#### 仙台学生ラボ 代表メッセージ 「学都・仙台」だからこそ、学生同士のつながりを

仙台学生ラボは、同じ高校の同級生3人が「別々の大学に進んでも、また集まって何かを始めよう」という想いから生まれました。「宮城ボラ・インカレ」には、同じ学生目線でイベントを企画・運営することで、参加する学生たちにも気軽に足を運んでもらえたらいいなという願いが込められています。

今年の秋には、大学や学年の垣根を越えた、在仙の大学生による文化祭も計画中です。「学都・仙台」と呼ばれるこの街だからこそ、学生同士の横のつながりをさらに広げ、新たな可能性が生まれてほしいと願っています。



学生団体 仙台学生ラボ(SGlab) 代表 **岩屋 璃香さん**

## 手話を通してコーヒーの魅力を伝えたい



▲思い思いの感想を伝え合う参加者の皆さん



▲仙台パルコ店のスタッフ



▲発案者の阿部裕人さん

仙台市青葉区のスターバックス コーヒー 仙台パルコ店では、月に一度、手話を通してコーヒーの魅力を体験できる「手話カフェ」を開催しています。聴覚に障がいのある人もない人も交流できる場として、2024年9月にスタートしました。きっかけとなったのは、その当時スタッフとして働いていたろう者の阿部裕人さんの「手話を第一言語とするお客様にも、コーヒーの楽しさを届けたい」という想いです。「自分の言語を使って、もっと自分らしく表現していいんだ」という強い意志が、この活動を支えてきました。

仙台パルコ店でストアマネージャーを務める藤井奈央子さんも「自分の感じたことを自分の言葉で伝えられることが、手話カフェの一番の魅力です」と話します。手話カフェでは、参加者の自己紹介をはじめ、おいしいコーヒーの楽しみ方やテイasting(試飲)、全員の感想の共有などが行われ、参加者が自分の気持ちを伝え合うやわらかな雰囲気の中、コミュニケーションが生まれ、交流の輪が広がっていきます。参加者からは

「初めての参加でしたが、みんなでコーヒーを味わっていたら、すぐに打ち解けました」「おいしいコーヒーに出会えるだけでなく、手話で多くの人と話せるのが楽しい」などといった声が寄せられていました。

聞こえる・聞こえないに関係なく、コーヒーをきっかけに誰もが笑顔になれる——そんな光景がスタッフにとって何よりの喜びになります。こうした取り組みを通じて、互いに理解し、自然に支え合える輪が広がっていくように取り組んでいます。

スターバックス コーヒー ジャパン  
公式HP

スターバックス コーヒー ジャパンの公式ホームページは、こちらをご覧ください。



## 自分たちにできることを無理なく継続的に



▲「七塔プロジェクト」を通じて作られた吹き流し



▲「七塔プロジェクト」に向けた授業



▲児童養護施設での研修

仙台市内で13店舗のビジネスホテルを展開する松月産業株式会社の社会貢献活動は、特別な気負いを感じさせない自然体の取り組みが特徴です。

地域の若者への教育支援も代表的な取り組みのひとつです。児童養護施設で生活する中学・高校生を対象にした研修では、ホテルの職場見学や「信頼をつくる5つの基本行動」をテーマにビジネスの基礎を学んでもらいました。参加した生徒からは「社会人になると多くのルールがあることを知った」「挨拶やマナーの大切さを実感できた」などの声が聞かれ、社会へ踏み出すための一歩を支えています。

また、仙台の夏の風物詩「仙台七夕まつり」に合わせた「七塔プロジェクト」も恒例となっており、今年度も多くの若者が参加する予定です。高校や専門学校に通う生徒たちが授業を通じてデザインを考案し、実際の会場に掲出することで、学生の創造性を街の活気へとつなげています。松月産業の取り組みはすそ野が広く、仙台市ボランティアセンターへの食品(ホテルの鏡餅)寄贈や、

障がい者雇用など、多岐にわたっています。「私たちは社会貢献を強く意識しているわけではありません。ごく自然な流れで、やって当たり前という感覚で続けています」と語るのは、代表取締役の田所寛章さんです。「大切なのは社会が求めているものを見きわめ、自分たちにできることを無理なく継続していくことだと考えています。これからもその想いを大切にしていきたいですね。」

社会のニーズに耳を傾け、できる支援を続けていくこと、そんな積み重ねが地域の心の豊かさを支えています。

松月産業(株)の取り組み

松月産業株式会社の主な取り組みは、こちらをご覧ください。



# 子どもの居場所づくり

～ みんなの笑顔が集まる地域食堂 ～

特定非営利活動法人シャロームの会 まざらいん食堂（仙台市若林区）



## 一緒にご飯を食べてほしいから

地域の中で誰もが安心して集まれる場所をつくりたい——そんなあたたかな想いから生まれたのが、若林区新寺の「まざらいん食堂」です。地域の子供たちはもちろん、ひとり暮らしの高齢者や、ハンディーのある仲間の皆さんなど、世代や立場を超えて「一緒にご飯を食べよう」と声をかけ合い、楽しい時間を分かち合っています。

この食堂を運営しているのは、特定非営利活動法人シャロームの会です。会場となるカフェギャラリー「太陽とオリーブ」では、月に一度、たくさんの笑顔が集まっています。食卓を囲むことで自然と会話が生まれ、「お子さん、大きくなったね」「今は何歳？」といったやさしい声が飛び交います。

「家族ぐるみで長く通ってくださる方も多く、地域みんなで子どもたちの成長を見守っています。利用者の皆さんの中には『まるで孫のようだ』と話す方もいらっしゃるんですよ。ここはみんなでワイワイご飯を食べて、誰もが自分らしく過ごせる地域食堂なんです」とお話してくださったのは、統括施設長の菊地康子さんです。食事をともにすることで生まれる温もりややさしさが、参加する人たちの心をそっと支えています。

にぎやかな食卓を囲みながら、お互いの心の距離が少しずつ近づいていく「まざらいん食堂」。これからも地域に笑顔の輪を広げる大切な場所として、多くの人の心をつないでいきます。



まごころを込めて調理中！



元気にいただきませーす！



みんなで食べるとおいしい！



愛情いっぱいメニュー！

## INFORMATION

「まざらいん食堂」に関するお問い合わせは

携帯 080-1800-8674 (菊地) または  
TEL 022-293-4345 (まきば) まで

# 仙台市ボランティアセンターからのお知らせ

「自分に合った」  
**ボランティア活動のを見つけ方**

「どんな活動がしたいかわからない」「自分にできることってどんなこと？」など、お悩みの方、まずはボランティア募集情報を覗いてみませんか？

- 1 スキマ時間でサクッと探したい!**  
地域の資源とニーズを繋ぐ「マッチングポータルサイト」で気になる活動を探せます!!  
ボランティア・寄付をしてほしい  
<https://www.ssvc.ne.jp/matching/search/take.php>  
よりアクセス
- 2 情報誌でじっくり探したい!**  
ボランティア募集情報誌「にこボラ」  
配架場所  
●各区中央市民センター  
●市民活動サポートセンター  
●みやぎNPOプラザ  
●市・区ボランティアセンター等  
情報誌「にこボラ」掲載HP  
<https://www.shakyo-sendai.or.jp/action/volunteer/page-51090/>  
よりアクセス
- 3 相談をしながら探したい!**  
「仙台市ボランティアセンター」、  
「各区ボランティアセンター」、  
「宮城支部事務所」まで  
お電話やご来所ください。  
(連絡先、住所は裏表紙を参照)  
ご希望にあった活動内容をご提案します
- 4 活動の基本、募集团体の想いを聞いてから参加したい!**  
「ボランティア育成講座」を受講すると、活動の基本や募集团体の想いを知ることができます!  
「ボランティア育成講座」を受講する

## 「ボランティア育成講座」参加者募集

～ 今からボランティア! ～

「ボランティアって何から始めたらいいの?」「どこかで活動したいけど、続けられるかわからない…」体験から始めたい方、以前ボランティアをしていたけど、久しぶりに活動したい方たちを応援する講座です。ぜひご参加ください。

ボランティア活動証明書も配布します!

<b>1回目</b> ボランティア活動についてわかりやすくご説明いたします <b>7月23日木</b> 13:30～15:00 ●座学「ボランティアのすすめ」 ●ボランティアに申請してみよう ●説明「ボランティア保険について」	<b>2回目</b> 幅広い活動ジャンルの中から実際にボランティアに参加!! 興味のあるボランティア活動をご自身で選んで参加できます!! 【一例紹介】 ●町内会の夏祭りのお手伝い ●桜の木のお世話 ●病院で患者さんとの交流、絵本の読み聞かせ、押し花等 ●福祉施設で利用者さんとの交流等	<b>3回目</b> ボランティアに参加してみたご感想・ご希望などをお聞かせください <b>8月19日水</b> 13:30～15:00 ●ボランティア交流・相談会 今回のような活動を続けてみたい、やっぱり別の活動がしてみたい等の相談や振りかえりを行います。 ●ボランティア活動証明書のお渡し
<b>会場</b> 7月23日と8月19日ともに 仙台市市民活動サポートセンター6階セミナーホール 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-3		
<b>定員</b> 50名 <b>対象</b> ボランティアに興味・関心のある方		
お申込みはこちらから 右記2次元コードから「申込フォーム」に必要事項を入力してお申込みください▶ 申込締切 7月13日(月)		

# イベントインフォメーション

## 障害理解サポーター養成研修 市民向け講座

障害のある方を講師にお迎えし、ご自身の実体験をもとに、必要な配慮についてお話しいたします。実際の経験に触れながら、理解を深める貴重な機会です。ご参加お待ちしております。

開催日

令和8年7月28日(火)  
14:00～15:30

参加者  
募集中  
先着30名

内容 【講義】障害について知ろう!  
【座談会】当事者講師に聞いてみよう!

場所 EARTH BLUE仙台勾当台8階会議室1(仙台市青葉区上杉1-6-10)

対象 仙台市内在住の方が仙台市内に通勤・通学している方



▲講義の様子

お申込みはこちらから

右記2次元コードから  
「申込フォーム」に必要な事項を  
入力してお申込みください▶  
申込締切 7月27日(月)



## ボラカフェ

仙台市ボランティア連絡協議会の皆さんと一緒にハンドメイド作品をつくりませんか?作り方を覚えたら、お友達に教えたり、おうちで楽しんだり、楽しみ方はあなた次第!年齢・性別を問わず、どなたでも参加OK! 出入りも自由ですので、お気軽に遊びに来てください。

日時 7月10日(金) 10:00～15:00  
(お昼休み12:00～13:00)

場所 EARTH BLUE仙台勾当台8階会議室3

必要物 材料費100円



※この作品は参考例です。実際の作品は当日のお楽しみ!

### 青葉区ボランティアセンター

仙台市青葉区二日町4-3 仙台市役所二日町分庁舎1階  
TEL 022-265-5260

### 若林区ボランティアセンター

仙台市若林区保春院前丁3-1 若林区中央市民センター別棟1階  
TEL 022-282-7971

### 宮城支部事務所

仙台市青葉区下愛子字観音堂27-1 仙台市宮城社会福祉センター内  
TEL 022-392-7868

### 太白区ボランティアセンター

仙台市太白区長町南3-1-30 南部アーチル1階  
TEL 022-248-8188

### 宮城野区ボランティアセンター

仙台市宮城野区原町3-5-20 メゾン坂下1階  
TEL 022-256-3650

### 泉区ボランティアセンター

仙台市泉区七北田字道48-12 泉社会福祉センター内  
TEL 022-372-1581

▼ 掲載記事に関するお問い合わせは仙台市ボランティアセンターまで ▼



社会福祉法人

仙台市社会福祉協議会

## 仙台市ボランティアセンター

〒980-0011

仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台6階

TEL 022-262-7294 FAX 022-216-0140

▼ホームページはこちら

<https://www.shakyo-sendai.or.jp/>

仙台市ボランティアセンター

検索

